

この国の未来を語る情熱 参議院議員当選祝賀会、開かれる

2007年10月10日。暑かった参院選から、2ヶ月余りが経ったこの日、弁護士会館2階のクレオに高々掲げられた垂れ幕に、「日本弁護士政治連盟参議院議員当選祝賀会」の文字が座った。

「弁政連は、意外にも相当柔軟な団体だ」。これに先立つことほんの数日、弁政連の末席に加わったばかりの私は、いきなり晴れの席の司会に指名され、そんな思いを抱きながら、この日来賓の皆さんをお待ちしていた。そして、開会までの時間をあと5分と確認した頃、会場には、主役である参院選当選者と、多彩かつ豪華な顔ぶれの各党議員が続々駆けつけ、早くも会場は華やかな賑わいを見せ始めた。

間もなく定刻が過ぎ、まずは、退席の時間が迫っていた江田五月参議院議長から、開会前に、急遽ご挨拶を頂くこととなった。江田議長は、研修所の同窓会のエピソードをまじえながら、議長就任にあたっての思いを、穏やかにしかし決然と語った。

その後、予定された式次第に戻り、本林理事長が開会を宣言し、平山日弁連会長の挨拶、久保井前理事長の乾杯がこれに続くと、いよいよ、参院選当選者ご紹介の時間となり、出席された当選者の方に、お1人ずつ、壇上でその抱負を語って頂くこととなった。

初当選の方、かねてから弁護士会との親交熱心な方々。今年の選挙で、一層にその存在感を示した、若手の弁護士出身議員の面々。壇上では、それぞれに個性的でエネルギッシュな主役の皆さんが、入れ替わりマイクを握り、自らの理想と目標を訴えた。しかし、そのバックグラウンドの如何を問わず、もちろん、所属する党にかかわらず、いずれも、この国の行く末に描く夢の大きさと純粹さに、遜色はない。会の懇親が盛り上がるほどに、壇上の声は会場の隅まで届きにくくはなったものの、各議員の情熱的な言葉の一つ一つに、そんな爽やかな印象を抱いたのは、おそらく、私1人ではなかったと思う。

後半、当選者以外の来賓の議員の皆さんを、代わる代わるに壇上へとお招きし、当選者へのエールをお願いす



来賓の皆様。津島議員、早川議員、仁比議員らの顔ぶれも...

ると、会はいよいよ宴たけなわとなった。会場の各所では、貴重な情報交換が行われ、あるいは真剣に政策を議論する場面も

あり。歓談、そして中締めへと進行する中、未来を語る情熱は、会場全体へと共有され、興奮冷めやらないまま、この日、閉会を宣言することとなった。(副幹事長 道あゆみ)



江田五月参議院議長からご挨拶



(久保井前理事長の音頭で)高々と杯を上げる当選者の皆さん



弁護士出身(47期)の森まさこ議員

東京都選出の大河原雅子議員

弁政連が推薦しご当選された 参議院議員の方々からの抱負

所属党、選挙区
現在の主な役職
抱負



愛知 治郎

自由民主党、宮城県
財政金融委員会理事
立法・行政・司法のあるべき姿の構築を目指して頑張ります。



井上 哲士

日本共産党、比例区
参院国対委員長
憲法を守り、正義と人権がつまぬかれる社会実現へ力を尽くします。



魚住 裕一郎

公明党、比例区
党副幹事長
参院選のご支援に感謝し、人権と正義の実現、司法制度改革に全力。



大河原 雅子

民主党、東京都
民主党政策調査会主査
生活が第一をモットーに、人権・平和を守り育てる活動を続けます。



岡崎 トミ子

民主党、宮城県
『次の内閣』ネクスト環境担当大臣
差別をなくし人権を守り平和を構築するために働いて参ります。



小川 勝也

民主党、北海道
参議院議院運営委員会理事
公正な社会をつくるために、これからも全力で頑張ります。



白浜 一良

公明党、大阪府
公明党参議院議員会長
公平、公正で成熟した市民社会の実現めざし頑張っています。



鈴木 寛

民主党、東京都
政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員長（倫選特委員長）
法曹人材の育成、医療ADR等に注力しております。



世耕 弘成

自由民主党、和歌山県
議院運営委員会筆頭理事
国民にとって使いやすい行政法制度確立を目指して取り組みます。



辻 泰弘

民主党、兵庫県
ネクスト財務副大臣
政治とは人間の幸せの追求です。その実現に司法の皆様と歩みたい。



遠山 清彦

公明党、比例区
参議院法務委員長
国民と司法の距離を縮めるため、全力を尽くします。



林 芳正

自由民主党、山口県
予算委員会筆頭理事
御支援に感謝し、司法・行政の改革に、取り組んでまいります。



古川 俊治

自由民主党、埼玉県
経済産業委員
国民の立場に立って、より信頼される司法をめざして頑張ります。



松村 龍二

自由民主党、福井県
自由民主党内閣部会長
公正な社会確立のために、司法制度改革で取り組みます。



松野 信夫

民主党、熊本県
参議院法務委員会委員
正義の実現と人権尊重を求め、少数者の声も大事にして闘います。



丸山 和也

自由民主党、比例区
参議院法務委員会・決算委員会委員
法に魂、政治に魂の一言に尽きる。



山口 那津男

公明党、東京都
公明党政務調査会長代理
司法制度改革の成果を国民の皆様のもとへと頑張ります。



森 まさこ

自由民主党、福島県
自民党犯罪被害者PT事務局長
被害者に直接向き合っている私達弁護士の声を国政に届け実現します。

弁政連が推薦しご当選された 衆議院議員の方からの抱負

所属党、選挙区
現在の主な役職
抱負



階 猛

民主党、岩手1区
財務金融委員会委員
弱者や不幸な目に遭った人に配慮した法制度の確立に努めます。

足腰の強い組織を目指して

日本弁護士政治連盟

幹事長 伊藤 茂 昭

全国まわり

幹事長を引き受けて5か月が経過しました。とにかく組織を強化する。この課題の下に本林理事長とともに全国の弁連大会を回っています。11月6日現在すでに6ブロックを回りました。午前のシンポジウムと午後の大会の合間の昼食時にブロック内の弁政連理事、支部長、支部幹事長と、支部の活動や今後の支部設立の可能性の組織問題、国選弁護報酬問題、取り調べの可視化の問題などの今年度の重点課題をテーマに弁政連懇談会を開催させていただいております。また、栃木県支部設立総会、兵庫県支部設立パーティ、広島県支部設立一周年パーティ、大阪の新役員披露にも出席させていただきました。この間各地で新たに205人を新会員に迎えるとともに、支部設立の新たな機運が盛り上がってきた地域もあります。

四委員会の設置

全国を回って、本部での活動の実態や、課題についての情報をもっと流してほしい、支部同士の意見交換の場を設けてほしいなどの意見が寄せられました。それらを参考に、本部の体制の強化を図ることになり、日弁連会員への広報体制の強化、多様な企画による活動の活発化、組織の強化の継続的組織的展開、予算の拡大と計画的配分と財務体制の組織化、などの方向性が見えてきました。まだまだ組織は脆

弱でありこれらの課題を実践に移すために、10月18日の在京正副理事長会議では、4委員会の設置と各委員長を決定しました。各委員長は下記の通りです。早速、委員長の下に若手の会員も加わり新たな活動を開始しています。

是非入会を

国会は「ねじれ」現象から、かつてない迷走ぶりですが、弁政連は、日弁連の政策を実現するために日弁連執行部とともに動く組織である。政治におもねらない組織である。クリーンな組織であるというしっかりとした組織の原理原則を維持し、どんなときにも右往左往することなく、着実に前進していきたいと思えます。これからも新しい体制づくり、企画に取り組んで参ります。全国の日弁連の会員の皆様の、入会をお待ちしています。

記

組織強化委員長

井元 義久 副理事長（第二東京・24期）

広報委員長

吉岡 桂輔 副理事長（東京・24期）

企画委員長

尾崎 純理 副理事長（第二東京・25期）

財務委員長

奈良 道博 副理事長（第一東京・26期）

支部からの報告

兵庫県支部からの報告

当支部は本年5月23日に発足しました。発足の経過等は本ニュース10号に投稿させていただいたとおりです。

その後の活動ですが、6月23日(土)に県選出の衆参国會議員の方々と意見交換会(テーマは、国選弁護報酬増額と行政書士の聴聞弁明代理権付与)と設立披

露パーティーを開催しました。議員本人14名、秘書4名の出席の下、本林理事長ほか本部、大阪・京都支部の役員の方々にもお越し戴き盛会となりました。ありがとうございました。(事務局長 春名一典)

広島支部定期総会報告

弁政連広島支部は、平成19年6月30日(土)設立1周年を記念し弁政連本部から伊藤幹事長をお招きして定期総会を開催致しました。引き続き、国會議員を招いて国選弁護報酬の増額と取調べの可視化について

勉強会を開催したところ、弁政連広島支部会員から23名、国會議員関係からは7名(本人1名、夫人1名及び秘書5名)の出席を得て、実り多い意見交換が行われ、盛況の内に閉会しました。(幹事長 中根弘幸)

栃木県支部設立報告

本年7月7日、弁政連栃木県支部が第15番目の支部として誕生した。登録会員数19名、支部長・小沼洸一郎、事務局長・木村謙ほかの体制での出発である。本林理事長・伊藤幹事長の新執行部発足後の第1号であり、設立総会にはお二人にご臨席頂き、ご祝辞を頂戴した。

当面の活動目標としては、会員の増強を図ることと共に、弁護士の存在意義を高めるための諸方策の実施、立法過程を理解するための勉強会や国会での委員会傍聴ツアー等を企画したいと考える。

(事務局長 木村 謙)

東京本部からの報告

弁政連東京本部は、先の参議院選挙（7月12日公示、7月29日投票）において東京選挙区からの立候補予定者と個別に朝食会を開いた。6月26日が杉浦ひとみ氏（社民党）、6月27日が田村智子氏（共産党）、6月28日が山口那津男氏（公明党）、6月29日が鈴木寛氏（民主党） 所要時間は各1時間。

急遽セッティングされたため主要な立候補予定者すべてと会合することはできなかったが、憲法問題、法曹人口問題、国選報酬問題などにつき率直な意見交換がなされた。今後も、同様の会合の開催が望まれる。
(副幹事長 臼井一廣)

大阪支部からの報告

大阪支部の会員は現在140名余、3000名を超える弁護士会の会員に比しあまりにも少なすぎる。多くの弁護士が結集することが弁政連活動の第一歩と位置付け、来年2月を目途に300名への増員計画を立て、実行に着手した。併せて支部会計の充実の方法も検討中である。

9月28日(金)には、国会議員16名(うち本人出席8名) 会員41名、本部から3名が出席して交流会が開かれたが、今後は各政党との意見交換会を逐次開催することにしている。
(弁政連大阪支部支部長 階貞男)

大阪支部の新役員披露パーティ

9月28日大阪ANAホテルで「新役員披露ならびに国会議員各位との交流会」を開催した。児玉憲夫前支部長の退任に伴い、新たに就任した 階貞男支部長、福原哲晃幹事長の新体制のお披露目である。階支部長の下、10名の副支部長、26名の理事、2名の監事、福原幹事長の下3名の副幹事長の新体制が紹介された。パーティではこのたびの参議院選挙で当選した、谷川秀善、梅村聡の両議員の紹介をはじめ、階新支

部長の挨拶での力強い決意表明、本林本部理事長の挨拶などに続き懇談が行われた。大阪弁護士会の会員である前川清成衆議院議員はもとより、中馬弘毅、竹本直一、尾立源幸、松浪健太、渡嘉敷奈緒美、川条しか、の出席議員が最後まで会員と懇談し、会場に話題の花を咲かせていた。ほかにも秘書の代理出席を始め多くが参加され今後の支部活動の強化に向けてきわめて有意義な会合となった。
(幹事長 伊藤茂昭)

弁政連活動日誌(11) 自 平成19年7月8日 至 平成19年11月19日

7月12日	伊藤幹事長・事務局、参議院議員選挙推薦議員に推薦状・陣中見舞を届ける		
18日	弁政連ニュース第10号発刊	10月18日	在京正副理事長会議
27日	北海道弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長出席(帯広市)	19日	中部弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長出席(金沢市)
	北海道弁連大会昼食時に、北海道弁連管内弁政連理事等と本林理事長・宮 副理事長懇談		中部弁連大会昼食時に、中国弁連管内弁政連理事等と本林理事長・井元副理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長懇談
30日	参議院議員選挙弁政連推薦当選者に祝電	23日	弁政連・日弁連、公明党との朝食会
9月5日	本林理事長・伊藤幹事長・事務局と打合せ	24日	弁政連・日弁連、民主党との朝食会
7日	在京正副理事長会議	26日	九弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長が出席(宮崎市)
19日	伊藤幹事長等江田参議院議長表敬訪問		九弁連大会昼食時に、九弁連管内弁政連理事等と本林理事長・井元副理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長懇談
21日	関弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長出席(新潟市)	29日	広報委員会
	関弁連大会昼食時に、関弁連管内弁政連理事等と本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長懇談	11月6日	企画委員会
28日	日本税理士政治連盟定期大会に鈴木副幹事長が出席	8日	弁政連・日弁連、国民新党との朝食会
28日	本林理事長・伊藤幹事長・吉峰副幹事長、弁政連大阪支部新役員就任披露並びに国会議員との交流会に出席(大阪市)	9日	四国弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・吉峰副幹事長が出席
10月3日	弁政連・日弁連、自民党との朝食会		四国弁連大会昼食時に、四国弁連管内理事等と本林理事長・宮 副理事長・吉峰副幹事長懇談
10日	参議院議員当選祝賀会(クレオ)	15日	弁政連・日弁連、共産党との朝食会
12日	中国弁連大会に本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長出席(広島市)	19日	企画委員会・広報委員会
	中国弁連大会昼食時に、中国弁連管内弁政連理事等と本林理事長・宮 副理事長・伊藤幹事長懇談		

日本弁護士政治連盟(弁政連)は、日弁連・弁護士会の目的を達成するために必要な政治活動等を行うことを目的として昭和34年設立され、全国に15の支部を有し、「日弁連と一体となって動く、クリーンで透明な運営をする、政治におもねらない」を基本原則として、その目的に賛同する弁護士が会員となって活動をしています。本ニュースに同封した「可視化」と「国選弁護報酬」に関する二つの書面は、日弁連が作成したもので、日弁連の要請により同封しました。

編集後記

「国会」と「弁護士」の架け橋となるニュースをめざします。(よしおか)
弁政連を強固な組織に。そのために会員・加入率の倍増が当面の目標です。そして将来は弁護士の国会議員の倍増です。そのためにも広報は大切です。このニュースも充実させてもっと読みやすいものにしていきたいと思ひます。(いとう)
本部や各支部の活発な活動をご報告できました。弁政連・弁護士会の目的を達成させましょう。(うすい)
とにかく大急ぎの編集でした...(みち)